

平成 27 年度 JGP 化学系サブユニット活動報告

2016 年 2 月 8 日

今年度は、以下の活動を実施した（一部計画中）。

0.1) プレスーパーグローバルコースのガイダンス実施（4 月 7 日）

0.2) 26 年度導入の Wiley e-book の利用説明会実施（6 月 16 日）

1) 国際的な視野に立った教育カリキュラムの本格実施

4 月より工学研究科の前後期連携教育プログラム融合工学コースの中にプレスーパーグローバルサブコースを開設し、8 名の学生を採用し、国際的な視野に立った教育カリキュラムを実施している。

2) 提携大学教員による集中講義の実施

上記 1) のコース内に複数のセミナー科目を新設し、海外提携大学教員による集中講義形式の単位認定講義及び研究指導のための学生との打合せを実施した。

本年度実施した科目と教員は以下の通りである。

JGP セミナー I : Prof. Zhiqun Lin (Georgia Institute of Technology, H27 年 6 月)

JGP セミナー II : Dr. Jeremiah A. Johnson (MIT, H27 年 11 月)

JGP セミナー II : Prof. Frank E. Osterloh (University of California, Davis, H28 年 2 月)

JGP セミナー III : Prof. Klavs F. Jensen (MIT, H27 年 10 月)

JGP セミナー III : Prof. Timothy F. Jamison (MIT, H28 年 1 月)

また、海外研究者によるセミナーを 27 回実施した。（H28 年 3 月末までの開催予定を含む。）

3) 日本人学生の共同研究型インターシップの実施と単位化

上記 1) のコース内に中期、長期のインターンシップ科目を新設し、単位化された日本人学生の共同研究型インターシップを実施した。本年度は 2 名の学生が MIT における長期インターンシップを実施した。

また、この実施のオーソライズのための、MIT との間で、学生派遣に関する協定(Visiting Graduate Students Agreement between Massachusetts Institute of Technology And Kyoto University)締結（2 月中）予定。

4) 提携大学関係部局とのジョイントコース構築に向けての協議

上記 3) で来学する提携大学教員とジョイントコース設置の可能性について協議を行った（現状のままではかなり困難）。

5) 提携大学教員と本学教員の本プログラム院生の共同研究指導のマッチング、および共

#### 同研究の可能性調査

サブユニット教員を提携大学に派遣し、共同研究指導のマッチング、および共同研究の可能性調査を行う（3月派遣予定）。

#### 6) スカイプを利用した遠隔指導の試行

派遣学生との間で実施し、より高度な遠隔指導機能が必要かについて検討した。

#### 7) 前年度と異なる分野での国際ワークショップの開催

教育に関する日米独ワークショップを12月11日（金）に開催し、3ヶ国より78名が参加した。

#### 8) 学生が企画運営する国際学生ワークショップの開催

特定の分野で学生が企画運営する国際学生ワークショップを開催（2月に予定）。

#### 9) MOOCsによる講義発信

11月から12月にかけて、跡見教授により *The Extremes of Life: Microbes and Their Diversity* というタイトルで行った。基本情報は以下の通り。

Total Enrollment: 2810

Completed Enrollment: 435

Verified Enrollment : 33 (fee'd)

Enrollment from 127 Countries/Regions in Total

---Top10 Countries---

USA 598

India 188

Japan 149

UK 129

Germany 88

Canada 81

Spain 76

Australia 65

Egypt 63

Mexico 55

#### 10) 次年度の募集

願書受付期間：平成28年2月15日（月）～平成28年2月26日（金）

口頭試問：平成28年3月9日（水）

合格発表：平成28年3月18日（金）